

現場の失敗と
その反省
X-5

資材調達計画の失敗

既設水路が老朽化して漏水が多く、開渠水路では管理上大変であることから、暗渠（ボックスカルバート）に新設する雨水幹線工事（ボックスカルバート1,500×1,500×2,000 L=123m）の工事です。

工期的に幹線水路で農繁期が終了した時からで、停水時期が11月から2月までのごく短い期間に限られておりました。その為、ボックスカルバートも事前に二次製品会社に発注しなければなりませんでしたが、工事区間の上下流は既設水路に擦り付けの現場の為、延長の最後は短尺物で対応しなければなりません。さらにボックスカルバートはP C鋼棒の縦締めでもあり、割付図より製品の誤差等を考慮し短尺物の注文を致しました。工事も順調に工程通りに

進捗して参りまして残すところあと数本と云うところで、短尺部分の寸法が当初注文した長さで良いか確認したところ、誤差等を考慮したよりも大きく、注文の寸法では長すぎる事が判明し、再度短尺物を注文致しましたが製品が現場に納品され施工完了が通水時期にずれ込む事態になってしまいました。

発注当局、関係者には多大なご迷惑をお掛けする事になり、当初の割付図からの製品誤差の検討が甘かった事を痛感致しました。当初から納品された製品の寸法を管理し、割付図の修正を行い早期に短尺寸法の決定をせずに、工期最終から逆算して注文すべきであったと反省しています。